

中学校検定英語教科書の題材にみる「食」に関する異文化理解教育

長谷川 功 桐蔭学園中学高等学校

1. はじめに

グローバル化が進む現代において、政治・経済・司法・科学・環境など様々な分野で国際化が進行し、海外で起こった出来事その日のうちに日本でも影響を及ぼすようになった。またそれと同時に国境を越えてヒトやモノが移動し、各国で多文化社会が進行している。我が国においても従来の在日韓国・朝鮮人のオールドカマーに加えて、1990年の移民法の改正以後、ニューカマーと呼ばれる日系ブラジル人・ペルー人などの労働者が地方都市に大量に移り住むようになった。法務省入国管理局の統計によれば、在日する外国人登録者数は、2014年12月31日現在212万人を超え、日本の総人口に占める割合は1.67%となっている。今後もその割合は増え続け、日本は今まで以上に多文化国家となっていくことは間違いないだろう。

このような現象は日本だけでなく世界中の国々が直面している問題であるが、その結果「国籍＝国民」という従来の図式は成立しなくなり、新たに「グローバルシティズン（地球市民）」としてのアイデンティティを育成することが急務となってきた。当然のことながら、その育成の基本となるのは異文化理解教育であるが、今までのように海外の文化を吸収するだけでなく、日本の文化を各国に理解してもらえるように、今まで以上に発信力が求められている。そこで今回は、異文化理解教育を進める上で基本となる3F（Food 食べ物・Fashion 衣装・Festival 祭り）の中で、生徒たちに最も身近な話題である Food 食べ物について、平成28年度4月から使用される検定英語教科書6社3学年分全18冊のすべての題材を分析し、「食」に関する異文化理解教育の現状を理解すると同時に、今後の「食」に関する異文化理解教育の可能性について言及することにした。

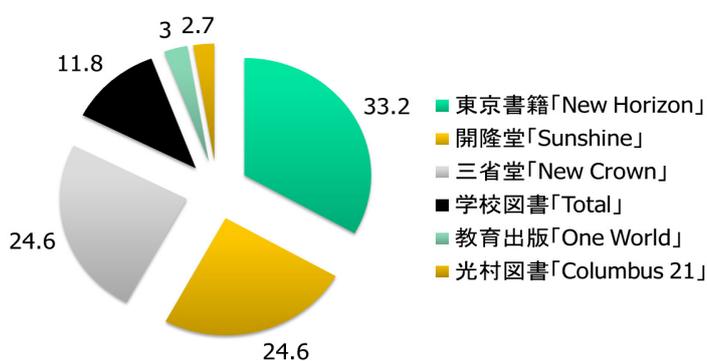
2. 中学校検定英語教科書

まずは戦後日本で発行されてきた検定英語教科書の数を、教科書図書館（江東区）に行き調査した。結果は以下の通りである。終戦からの10年間は、今よりも多くの教科書が出版されていたことが分かる。その後次第に淘汰され、2006年以降は、現行の6社で安定している。なお一部の私立進学校では、Z会出版の「New Treasure」などのレベルの高い教科書を採用している学校も少なくないが、今回の調査は日本全国の一般的な分析を目指しているので、分析対象からは除外した。

1950	1955	1961	1966	1969	1972	1975	1978	1981	1984
16	17	12	8	7	5	4	5	5	5
1987	1990	1993	1997	2001	2002	2006	2010	2012	2016
6	6	7	7	7	7	6	6	6	6

「教科書レポート2012」より

次に現在出版されている6社の教科書のシェアについて調査した。結果は以下の円グラフの通りである。シェア1位は「New Horizon」（東京書籍）の33.2%で、他社を引き離している。海外の日本人学校ではシェア1位の教科書を採用し、また実際に海外で異文化コミュニケーションの最前線にいるのは彼ら（彼女ら）なので、シェア1位の教科書の責任は重い。なお第2位は「Sunshine」（開隆堂）と「New Crown」（三省堂）が同率の24.6%で続いているが、この3社で実に全体の82.4%を占めており、3強と呼ぶのにふさわしい状態である。以下、4位「Total」（学校図書）11.8%が続き、5位「One World」（教育出版）3.0%、6位「Columbus21」（光村図書）2.7%の順になっている。



(2012年)

3. 海外の食べ物の紹介

次に海外の食べ物が、どのように紹介されているかをまとめていた。結果は以下の通りである。

- 海外と日本の朝食を比較する（3冊）・・・中国・ベトナム・インド・イギリスなどとの比較。「New Horizon 1」（東京書籍）ドイツとインドの比較。「Total 3」（学校図書）アメリカの現状。トーストかパンケーキか。「Columbus21-1」（光村図書）
- 学校の昼食を食べる場所の違い（3冊）・・・日本は教室で、アメリカはカフェテリアで、ピザやタコスなども食べる。「New Horizon 1」（東京書籍）メキシコ料理のタコスを食べる。「New Crown 1」（三省堂）サンドイッチ、フルーツだけでなく、スナックも持参ができることに、日本人生徒が驚く。「Total 1」（学校図書）
- チャイナタウン（2冊）・・・サンフランシスコのレストラン。フォーチュンクッキーを作っている。「New Horizon 1」（東京書籍）日本の中華街のお店に行く。「One World 1」（教育出版）
- 海外のホームステイ先で、食事で困ったこと（2冊）・・・出された料理が多くても断れなかったが、断っても失礼ではないことを助言される。「New Horizon 2」（東京書籍）家族の一員なので、冷蔵庫の中のものを自由にとって食べていいと言われ、戸惑ったこと。「Sunshine 2」（開隆堂）
- チョコレート（2冊）・・・ガーナのカカオ農園の現状に触れ、児童就労やフェアトレードにまで言及するレベルの高いもの。「New Horizon 3」（東京書籍）チョコレートを食べる時、アフリカや南米の協力が不可欠であることを考えてほしい。「Sunshine 2」（開隆堂）
- 感謝祭やクリスマスで七面鳥を食べること。（2冊）・・・正月料理はないけど・・・。「Total 1」（学校図書）アメリカで、母親がクリスマスに七面鳥を調理。「One World 1」（教育出版）
- クラムチャウダー・イン・ブレッドボウル（1冊）・・・サンフランシスコのフィッシャーマンズ・

ワーフで食べる。「New Horizon 1」(東京書籍)

- 国際フードフェスティバル(1冊)・・・インドのナン。韓国料理。日本と中国のラーメンの違い。日本とインドのカレーの違い。「Sunshine 1」(開隆堂)
- ステーキ&チップス(1冊)・・・英国旅行中の昼食。「Total 2」(学校図書)
- カレー(1冊)・・・インドでは右手で食べること。「Total 3」(学校図書)
- パンプキンパイ(1冊)・・・ハロウィーンで、レシピ紹介。「One World 2」(教育出版)
- フィッシュ&チップス(1冊)・・・英国での昼食。「One World 3」(教育出版)
- 糖蜜パイ(1冊)・・・英国の伝統的なお菓子。「ハリーポッター」でも登場。「One World 3」(教育出版)

食に関する話題は生徒に最も身近な話題である。単に食べ物が違うだけでなく、昼食を食べる場所が違うこと、海外のホームステイ先で困ったこと、同じ料理でも日本と海外では違うこと、インドでは右手で食べることなど、文化的な側面にも触れやすい。またチョコレートを通じて、人権や南北問題について考えさせるレベルの高いものもあった。

今後は、例えばお米料理でも、世界には様々なお米料理があることを紹介し比較するのも面白いだろう。またイスラム社会に関するニュースが連日報道されていることを考えると、中東・アフリカ・インドネシアなどのイスラム文化の食に関する英文がまったくないのは不自然に思える。イスラム社会については理解することは難しいが、例えば「食」に関して、アルコールを控え豚肉を食さないという基本的なことから理解を始めることはできるだろう。生徒たちに理解しやすい「食」のことから理解の扉を開けていきたいと思う。次回の改定にも期待したい。

4. 日本の食べ物の紹介

次に日本の食べ物がどのように紹介されているかをまとめてみた。結果は以下の通りである。

- 寿司(6冊)・・・主人公のカナダ人が大好きな食べ物。「New Horizon 1」(東京書籍)カナダ人の先生の大好きな食べ物。「Sunshine 1」(開隆堂)オーストラリアでも大人気の回転寿司。「Sunshine 3」(開隆堂)飾り巻寿司・柿の葉寿司など様々な寿司の紹介。「New Crown 2」(三省堂)カナダ人の先生の大好きな食べ物。鮪は好きだが、蛸は苦手。「Total 1」(学校図書)アメリカ人がニューヨークでもよく食べた。「Columbus21-1」(光村図書)
- お正月料理(3冊)・・・おせち料理、雑煮。「New Horizon 1」(東京書籍)「Sunshine 1」(開隆堂)おせち料理はそれぞれ意味がある。例えば昆布巻きは「喜び」「Total 1」(学校図書)
- 豆腐(3冊)・・・カナダ人の先生が、京都で湯豆腐と田楽を食べる。「Sunshine 2」(開隆堂)シンガポール人が京都東山で湯葉を食べる。「One World 1」(教育出版)アメリカ人が健康食で好き。「Columbus21-1」(光村図書)
- お好み焼き(3冊)・・・広島風お好み焼きレシピ紹介。「Sunshine 3」(開隆堂)オーストラリア人とシンガポール人が、大阪でお好み焼きと、たこ焼きを食べる。「One World 1」(教育出版)日本人と韓国人が浅草で食べる計画をする。韓国のチヂミに似ている。なお現地ではジョンと呼ばれる。「One World 2」(教育出版)
- ラーメン(2冊)・・・韓国人が札幌でバターコーン入り味噌ラーメンを食べる。オーストラリア人の先生が、夏休みに山寺に行き、冷やしラーメンを食べる計画。「One World 2」(教育出版)熊本ラーメン。「One World 3」(教育出版)
- 日本のホームステイ先で、食事で困ったこと(1冊)・・・礼儀正しくお客として扱われた。その

- ため、お米が食べたいのにパンが出された。「Sunshine 2」(開隆堂)
- 海外の日本食レストランの数(1冊)・・・健康食ブームで増加傾向。「Sunshine 3」(開隆堂)
- 煎餅(1冊)・・・浅草で日本の生徒が、インド人とアメリカ人の同級生に手焼き煎餅を勧める。
「Total 1」(学校図書)
- ちゃんこ鍋(1冊)・・・カナダ人の先生が、相撲部屋の朝稽古を見学。「Total 2」(学校図書)
- ソーキそば(1冊)・・・オーストラリア人の先生が、沖縄旅行で食べた。「One World 2」(教育出版)
- 年越しそば(1冊)・・・長寿を願う。「Columbus21-1」(光村図書)

予想はされたことだが、寿司に関する題材が多かった。もはや寿司は「Sushi」として現地の文化に溶け込み、例えばカリフォルニアロールとして逆輸入までされているのが現状だ。また、おせち料理や年越しそばの文化的な紹介も面白い。日本食は健康食ブームで、関心のある外国人も増えている。我々自身も日本の食べ物を「おもてなし」として、発信できるようにしなければならないだろう。

5. まとめ

「食」に関する話題は、世界中の人の毎日の関心事であり、その国の文化を一番反映しているものである。ただ単に食べ物の種類が違うだけでなく、文化的な違いについても考えることで、異文化理解が深まることになる。

例えば日本の捕鯨は長い歴史があるが、残念ながら捕鯨に関する世界からの風当たりは強い。現代では鯨以外のものからタンパク質を摂取することは十分可能であることを考えれば、日本の調査捕鯨の主張は説得力がないようにも思える。それでもただ感情だけに訴えて非難されることには、いささか違和感がある。なぜなら同じアジアでも、東アジアには肉食文化の国もある。ペットとしてみると残虐な感じもするが、捕鯨と同じようにただ感情だけに訴えて非難するのは、相手の文化を理解していないことになり、偏見を生む危険性さえあるのではないだろうか。

今回の教科書には、チョコレートに関する題材から、児童就労やフェアトレードなどの人権や南北問題も考えさせるレベルの高いものがあつた。またよく言われていることだが、日本人がエビを輸入するため、インドネシアのマングローブを伐採しエビの養殖を行い、環境破壊を引き起こしている現状もある。身近な食に関する問題から、人権・南北問題・環境エネルギー問題・平和問題など「グローバルシティズン(地球市民)」としてのアイデンティティを育む教育を進めていきたい。

最近日本のテレビ番組でも外国人が意外な目的で来日し、日本の意外なところに驚くような番組が増えている。まさにリアルな「異文化理解教育番組」であるが、考え方の違いが人を豊かにし、多文化共生社会を実現することが今後は不可欠なことを、生徒たちに理解させたい。

【参考図書一覧】

- 青木 保(2003)『多文化世界』岩波新書
 ビル・プライス(2015)『図説世界史を変えた50の食物』原書房
 古田暁・石井敏(2001)『異文化コミュニケーションキーワード』有斐閣双書
 池上俊一(2014)『お菓子でたどるフランス史』岩波ジュニア新書
 辛島昇(2015)『インド・カレー紀行』岩波ジュニア新書
 小松正之(2011)『日本の鯨食文化』祥伝社新書
 村井吉敬(2007)『エビと日本人Ⅱ』岩波新書
 サミュエル・ハンチントン(2004)『文明の衝突と21世紀の日本』集英社新書
 佐藤洋一郎(2012)『知ろう 食べよう 世界の米』岩波ジュニア新書
 高野潤(2015)『新大陸が生んだ食物』中公新書

ほか